



Keep the Lifeline.

ライフラインを、支える。

2022年9月3日(土)

個人投資家向け会社説明会資料



株式会社協和日成 <コード:1981>

本日お伝えしたいこと

- ① 協和日成は、ライフラインを身近で支える設備工事会社
- ② 経営にあたっては、サステナビリティを重視
- ③ 新たな中期経営計画では、将来の事業環境の変化に備え、新たな中核事業として建築設備事業を育て上げる
- ④ 株主還元の強化（中計最終年度（2024年度）配当性向40%）を計画

1. 当社の概要

2. 新中期経営計画「STEP 2024」について

3. 株主還元

参考資料

1. 当社の概要

Keep the Lifeline.

会社概要

商号	株式会社協和日成
設立	1948年（昭和23年）9月15日
所在地	〒104-0042 東京都中央区入船3-8-5
資本金	5億9千万円
株式	東京証券取引所スタンダード市場＜コード:1981＞
代表者	代表取締役社長 川野 茂
従業員数	777名（2022年3月31日現在）
売上高	342億円（2022年3月期）
グループ会社	3社（2022年4月1日現在）



環境と技術力、情熱とエネルギー、
そして人、を表した
コーポレートシンボル

企業ビジョン

たゆまぬ研鑽を行い、優れた人間力と高い現場力でサービスを
提供する真の総合設備工事会社を目指します。

事業概要 ～協和日成はこんなところで活動 1/2



社会の様々な
ライフラインを
支えます

建築設備

ガス設備

ガス導管

電設・土木

事業概要 ～協和日成はこんなところで活動 2/2

建物内では・・・

ガス設備

ガスの配管設備、
発電システムの設計・
施工をワンストップで



建築設備

マンション、ビル等の
空気調和・衛生設備工
事を行い、より快適な
空間に



建物外では・・・

ガス導管

都市の地下にあるガス
導管の工事や調査、ガ
ス漏れ時などの緊急出
動まで



電設・土木

より住みやすい都市の
ための、管路埋設工事、
上水道工事、イリゲー
ション工事など



まちで見かける協和日成の現場

▼まちで見かける協和日成の工事看板



▼作業帯設置状況、ヨシ



▼工具、ヨシ



▼資機材搬入、ヨシ



▼作業動線確保、ヨシ



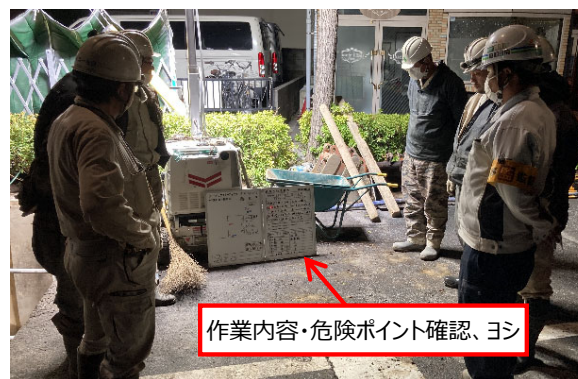
まちで見かける協和日成の現場 ガス工事の安全対策

ガス事業者の作業基準を遵守し、安全を最優先に施工管理を行っています

＜工事の流れ＞

- ・作業帯を設置
資機材搬入
- ・作業前MTG
(危険予知活動)
- ・道路掘削
- ・配管埋設、接続
- ・埋め戻し（仮復旧）

▼作業準備、ヨシ



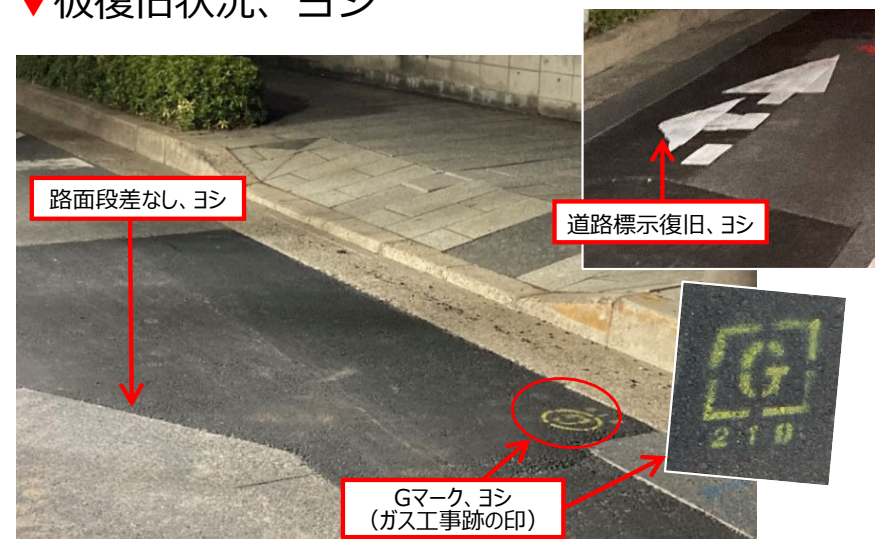
▼山留め、ヨシ



▼ガス管接続状況、ヨシ



▼仮復旧状況、ヨシ



事業内容 ～ガスが届くまで

ガスが
届くまで

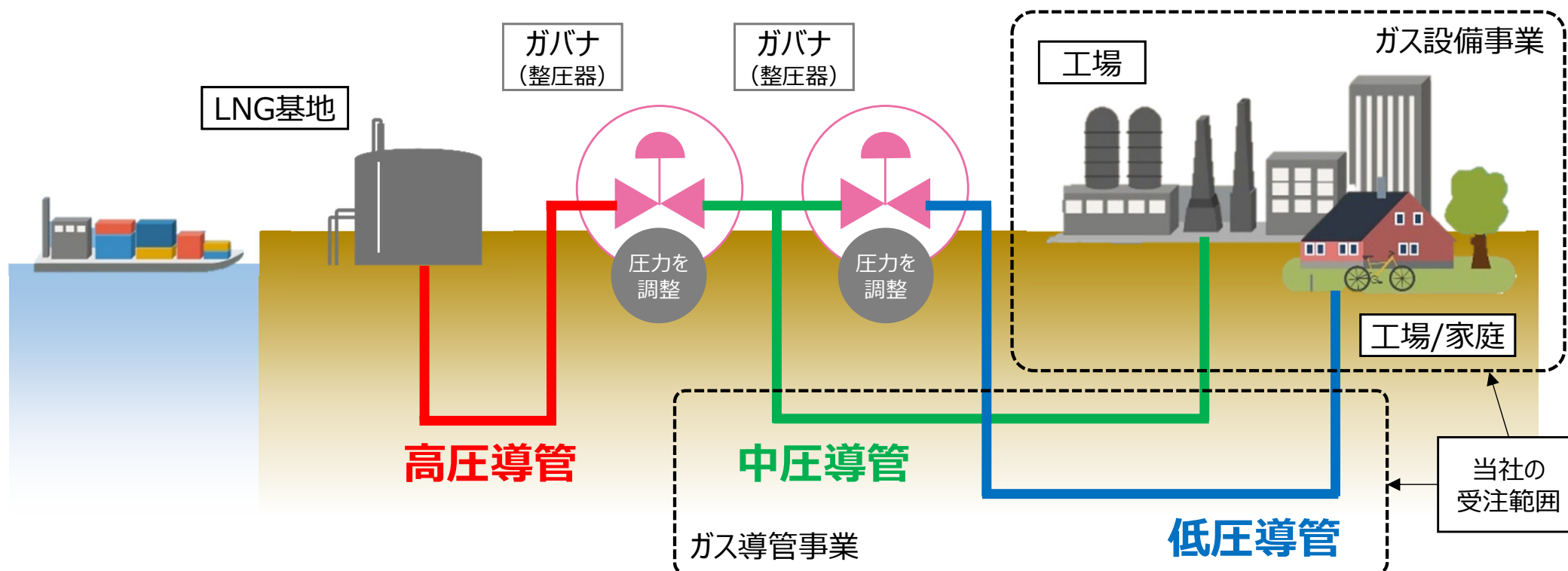
ガス導管事業・・・都市ガスをお客様の敷地まで届ける「ガス導管」の工事

ガス設備事業・・・敷地内のガス配管・機器設置工事

製造段階

供給段階

消費段階



事業内容 ①ガス設備事業について 1/2

ガス設備事業

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

ガス設備工事



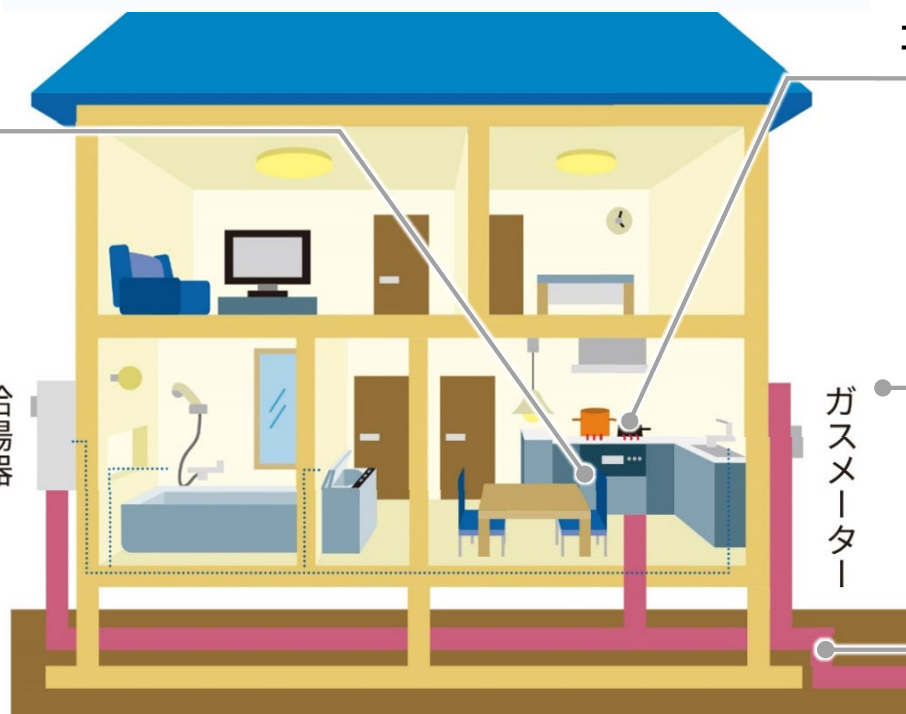
コンロ下 (ガス栓)



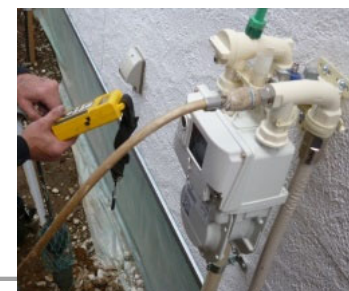
給湯器

戸建イメージ

■ = ガスの配管



コンロ 点火試験



ガスメーター



ガス管土中埋設配管

東京ガス管内年間
メーター取付数

約33,000個

(シェア約16%)

事業内容 ①ガス設備事業について 2/2

ガス設備事業

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

暖房給湯・ 空調設備工事

戸建住宅のTES(TOKYO GAS ECO SYSTEM/ガス給湯暖房)工事。エネファームなどのガス機器設置工事など。



エネファーム
(家庭用燃料電池
コージェネレーションシステム)



【エネファームのシステムイメージ】



床暖房 (TES)

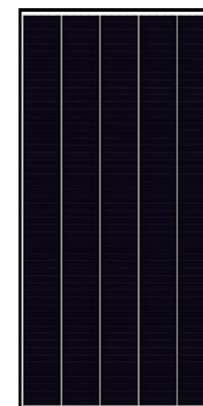


乾太くん (ガス衣類乾燥機)



太陽電池・燃料電池・蓄電池 システム工事

省エネ機器、発電、蓄電およびシステム制御。住宅、小規模施設の発電、蓄電池等のシステム設計。災害時の停電対策に関する設備の提案・設計・施工・メンテナンスまで。



エネイース:
太陽光発電+蓄電池



事業内容 ②ガス導管事業について

ガス導管事業

主な施工場所

地中

ガス導管工事

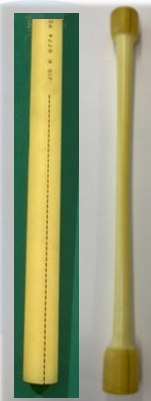
ガス管の漏洩防止と耐震化：

土中の水分で腐食せず、
地震に強い柔軟性のある

ポリエチレン管に入れ替える工事

※ガス導管が届いていないお客様の敷地まで導管を
埋設する工事である“**ガス管の延伸**”もおこなう。

ポリエチレン管は
ひっぱり強く、地震に強い



大口径導管溶接工事



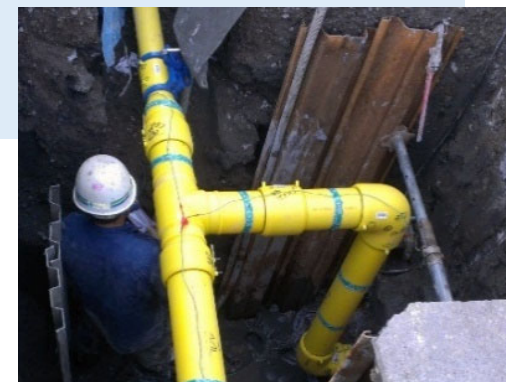
メンテナンス

【ガス導管修理工事】

ガスの本管・支管に関わる
修理工事

【ガス漏れ緊急出動】

ガスの本管・支管に発生するガス漏れに
関わる緊急調査・修理。24時間365日、
出動に備えて待機



導管分岐部工事

事業内容 ③ 建築設備事業について

建築設備事業

主な施工場所

集合住宅

工場

学校・福祉施設

商業施設

<集合住宅における施工範囲>

給水… ●—● 給湯… ▲—▲
床暖… ○—○ 排水… ●—●
換気… ◆—◆ 空調… —
消火… —
ガス… ■—■
(当社ガス設備事業が施工)

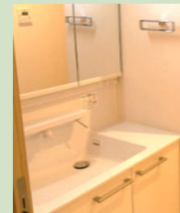
キッチン



シンク下



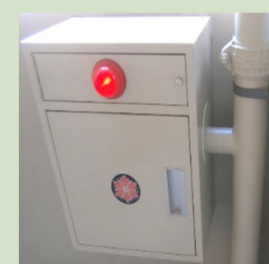
風呂・洗面所



洗濯パン



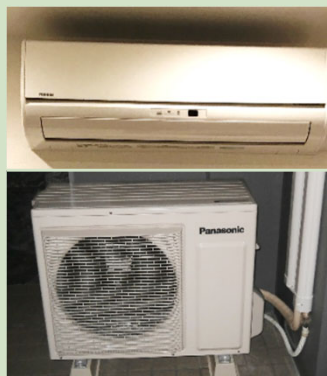
消火栓



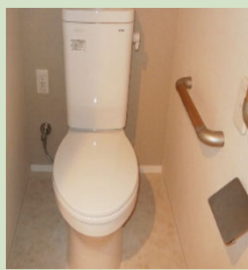
床暖房 (TES)



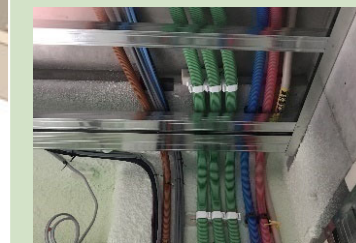
エアコン・室外機



トイレ



天井裏の配管



【その他の設備工事】

- ・ 厨房設備工事
- ・ 工場プラント工事
- ・ GHP (ガスヒートポンプエアコン) 工事

【メンテナンス】

- ・ GHPメンテナンス工事
- ・ 給排水管の耐用年数をアップする工事

給水管

⇒ NPL-Ⅲ工法

排水管

⇒ DREAM工法

樹脂でコーティング ▶



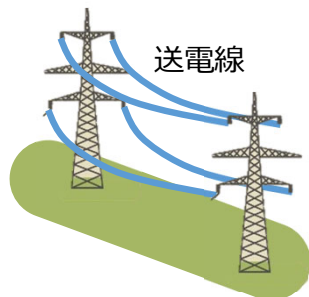
事業内容 ④電設・土木事業について 1/2

電気が
届くまで

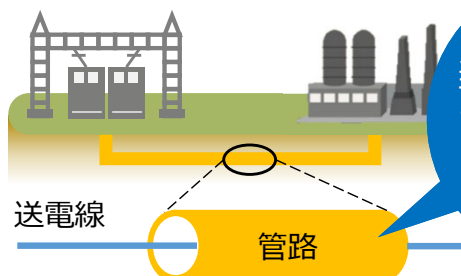
当社が受注する
地中送電線の範囲
(電設工事・メンテナンス)

<送電線の種類>

1. 空中にかかる 架空送電線



2. 地中に埋まっている 地中送電線

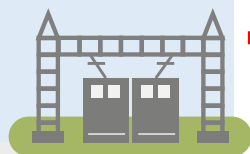


当社の電設工事
では、この管路の
埋設工事を行う

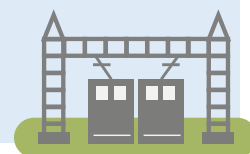
ビル・大規模工場



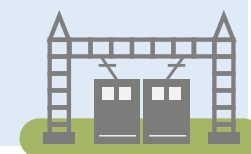
超高圧変電所



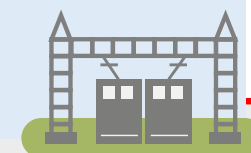
中間変電所



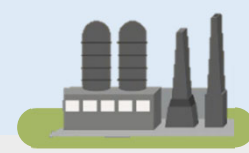
鉄道変電所



配電用変電所



工場



家庭



事業内容 ④電設・土木事業について 2/2

電設・土木事業

主な施工場所

地中

ゴルフ場

電設工事・メンテナンス

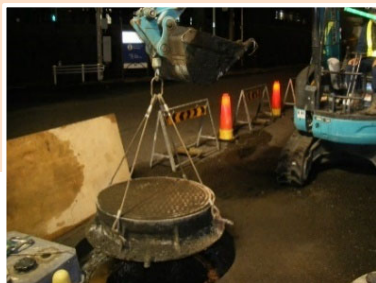
地中送電線（ケーブル）を通すための管路埋設工事、マンホールの地中建設工事、点検・補修工事



管路地中埋設工事



洞道地中建設工事



マンホール高さ調整工事

一般土木工事

上水道工事、
道路舗装工事 など



上水道入替工事



道路舗装工事

イリゲーション工事

ゴルフ場の散水設備、
クラブハウスの設備工事



ゴルフ場コース スプリンクラー取替工事



クラブハウス浴室
シャワー水栓取替工事

確かな技術力



様々な
ガス事業者から
の高い信頼



幅広い
顧客チャネル

安定した事業基盤

強み ①確かな技術力 1/2

建物内の**ガス設備工事**

都市の地中に張り巡らされた**ガス導管工事**

70年以上の歴史の中で培われた技術力

あらゆる視点から人々の生活を支える幅広い事業を展開

空調設備
工事

給排水
衛生設備
工事

電路洞道
工事

水道工事

強み ①確かな技術力 2/2

さらなる技術力を育むために・・・

協力会社との連携強化

- ヒアリングや技術力の評価等を実施
- CSR調達制度を導入

協力会加入数

約230社

施工班数

約400班

作業員数

約1,500名

CSR調達とは、企業がサプライチェーン全体で社会的責任を果たすことを目指す活動

各種講習の実施

- 大和研修センターでの研修
- 通信教育講座での教育機会



大和研修センター



ポリエチレン管融着

鋳鉄管穿孔



公的資格の取得推奨

- 資格取得奨励金制度
- 資格取得のための事前研修

<公的資格取得者数>

2020年度末

392名

8名増

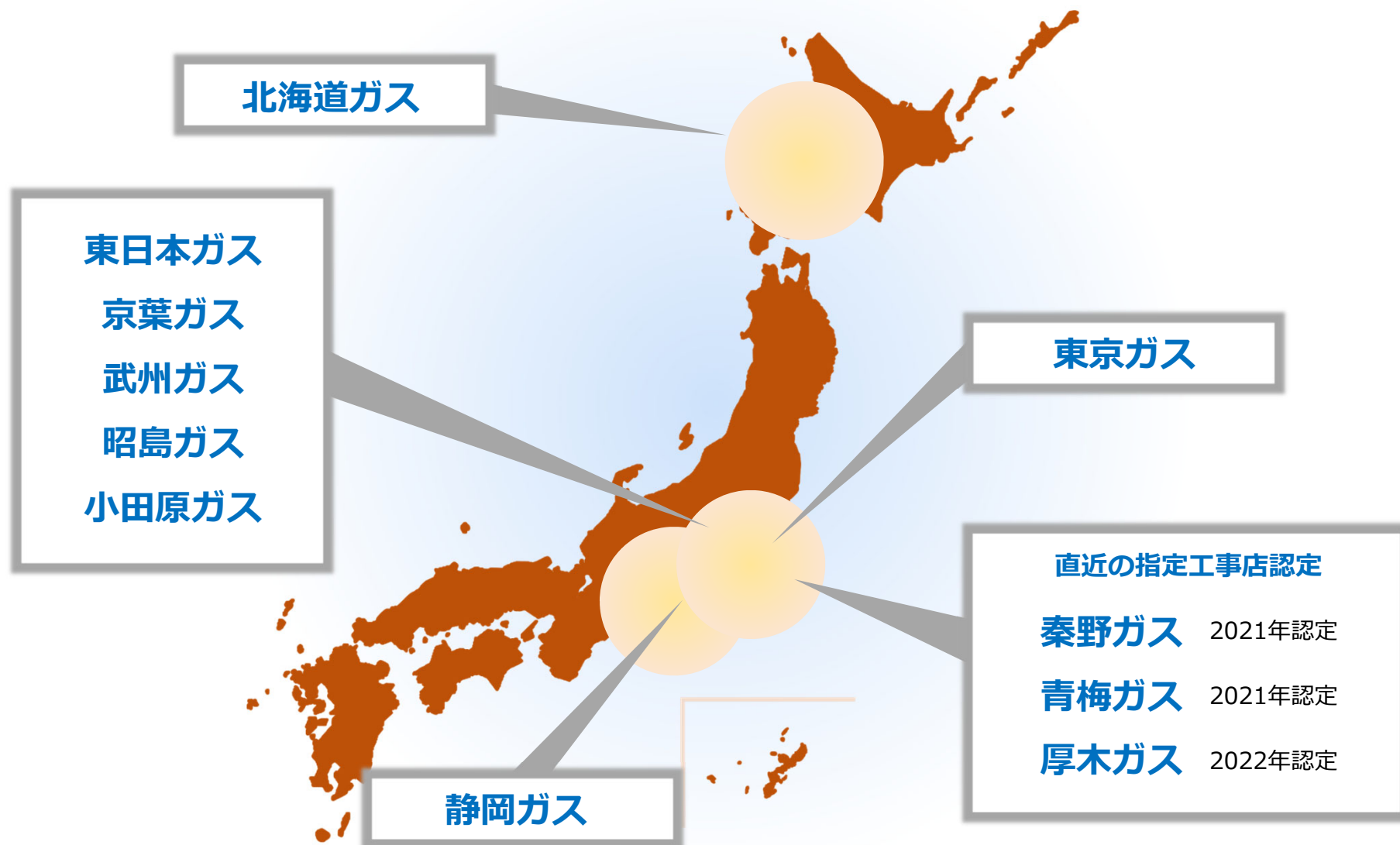
2021年度末

400名

公的資格には管工事施工管理技士、土木施工管理技士、建築施工管理技士 等を含む

強み ②様々なガス事業者からの高い信頼

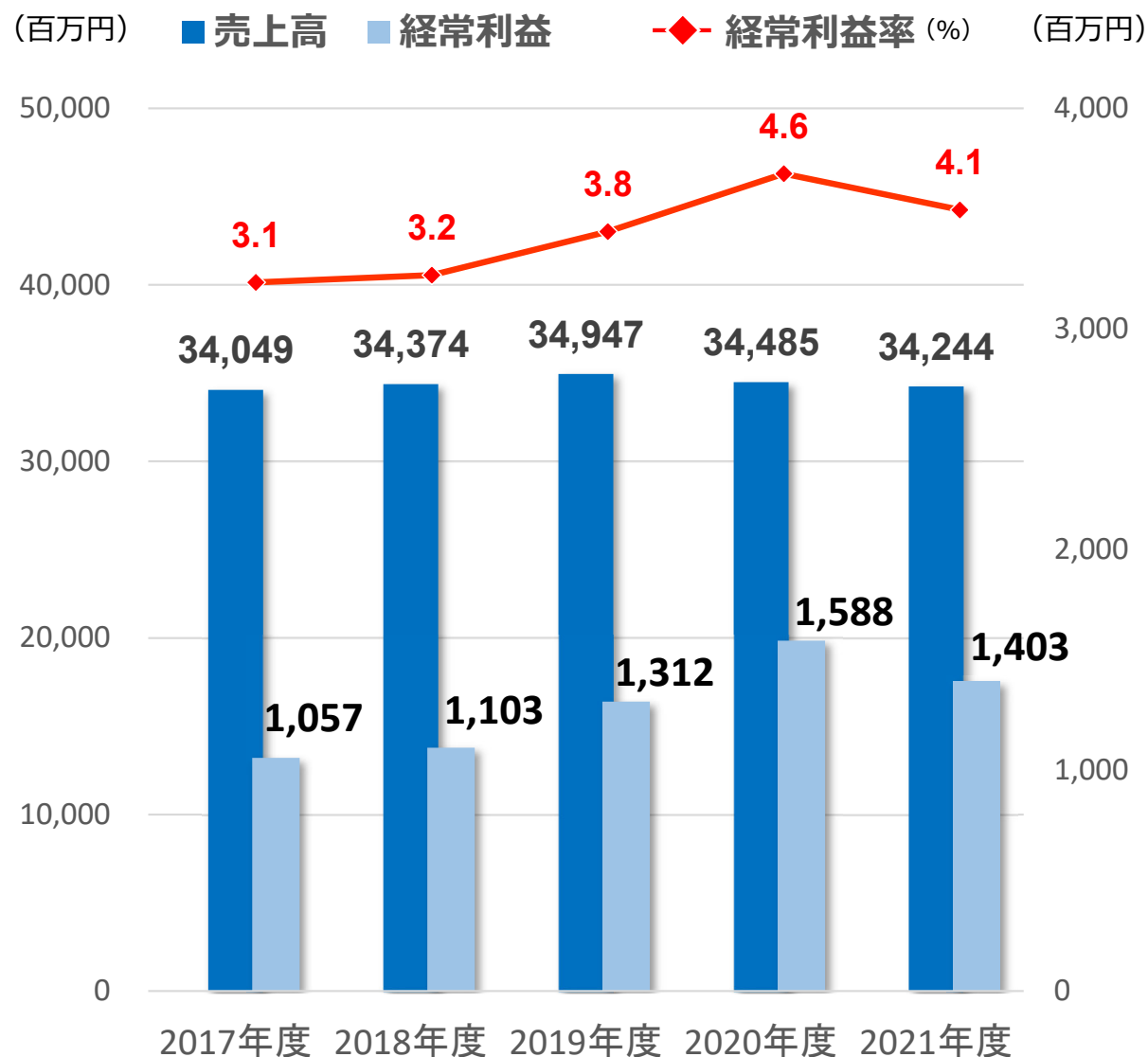
2022年現在、11社のガス事業者から指定工事店として認定



強み ③当社の顧客チャネル



売上高/経常利益の推移



※2020年4月、維持管理事業を移転（会社分割）により、1,125百万円の売上減少

【主なポイント】

- 2021年度は、住宅着工件数の減少などを背景に売上高が伸び悩み減収。
- 経常利益は、原価率の高い案件の完成が多かったことにより減益。

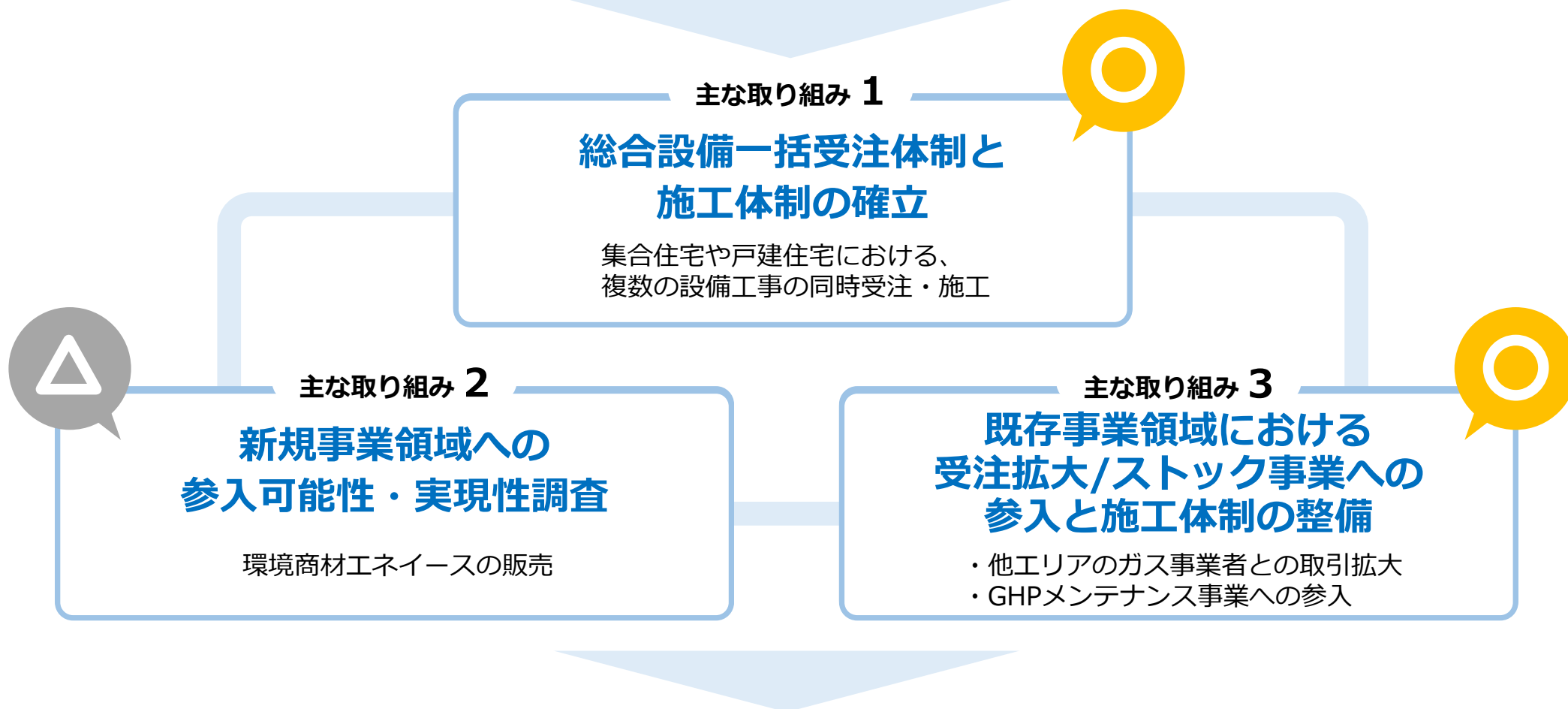
2.新中期経営計画「STEP 2024」について

<2022年度～2024年度>

Keep the Lifeline.

前中期経営計画の振り返り

ガス小売り自由化による競争激化を背景とした収益減少に備え



課題は残ったものの成長可能性に手応え

新中期経営計画策定の視点

事業環境の変化

- ・ 新中計の3ヶ年は
事業環境に大きな変化はない
- ・ 大きな柱であるガス導管事業
の将来的な環境変化に備え

**新たな中核事業（建築設備事業）
育成の必要性**

社会環境の変化

自然災害の増加・激甚化に対する
インフラ維持・早期復旧ニーズの高まり

温暖化対策をはじめとする
世界的な環境意識の高まり

人材の多様性の確保尊重といった
人権重視への対応

生活様式の見直し、DXの進展

東証市場構造改革、
コーポレートガバナンスコード改訂

**サステナビリティを意識した
経営の必要性**

中期経営計画「STEP 2024」概要

「STEP 2024」 (Sustainable Evolution Plan)

サステナビリティ基本方針

協和日成グループは、お客様に安心と心地よさを提供し、豊かな未来のためにライフラインを支えるという事業活動を通じて、社会的存在価値及び企業価値の増大を図り、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

5つの重要施策

事業戦略

株主還元の
強化

CSRの
推進

筋肉質な
企業体質作り

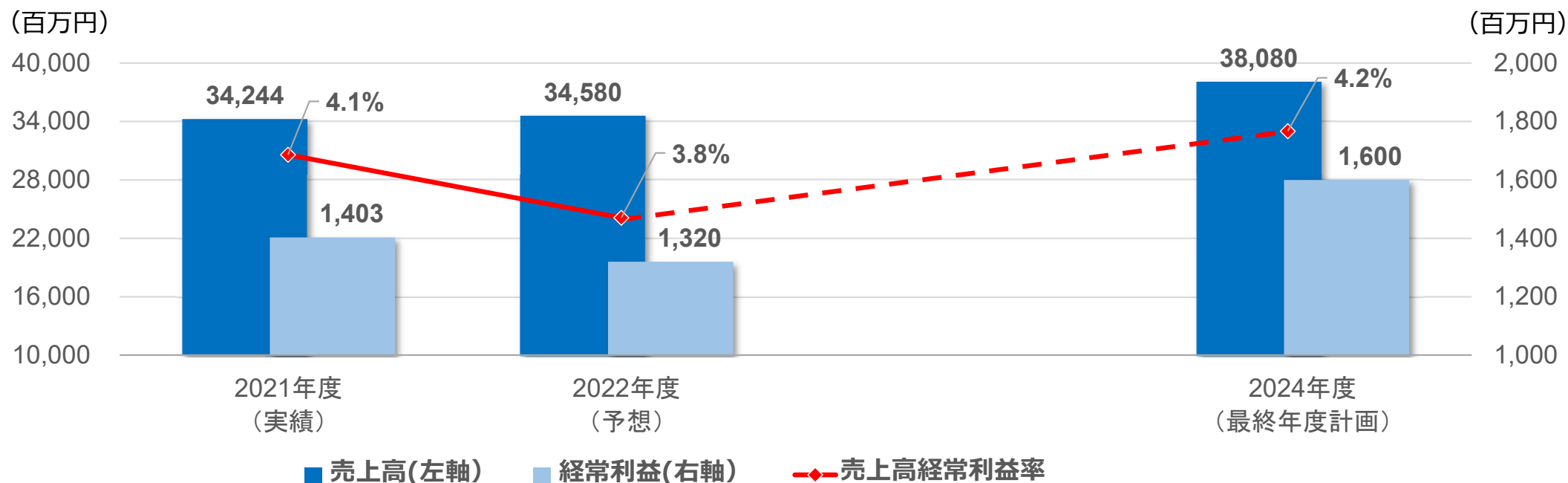
経営基盤
強化

売上・利益計画 1/2

(i) 全社

目標とする経営指標

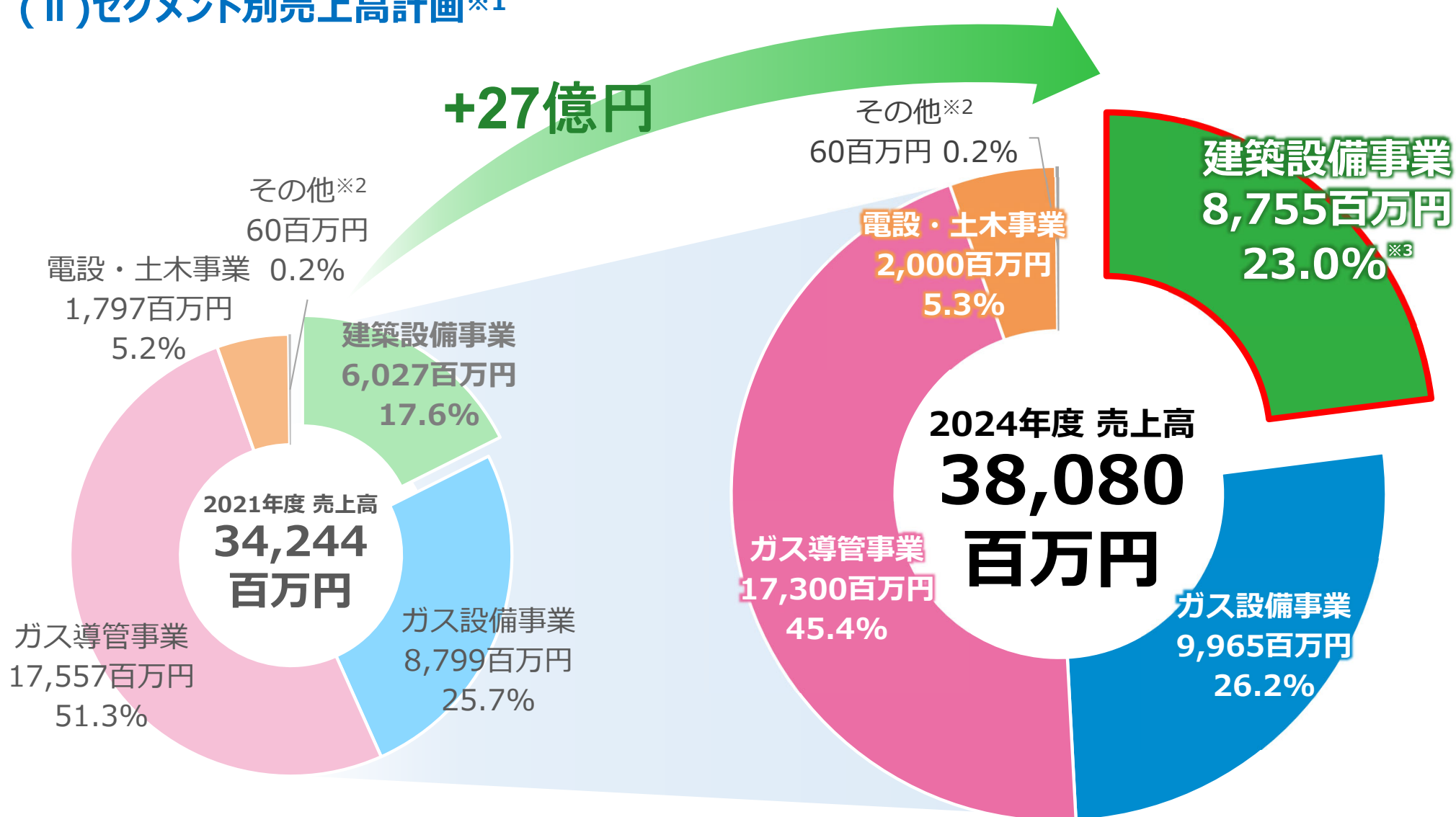
企業の総合的な収益力を示す指標として、売上高経常利益率を重視。
中計最終年度**4.0%**の達成を目指す。



- 2022年度から2023年度にかけて設備の更新投資、人材に対する先行投資等が重なるため、この間の売上高経常利益率は低下する見通し
- 2024年度には収益力の向上により、このような費用を踏まえても4.0%以上の達成を目指す

売上・利益計画 2/2

(ii) セグメント別売上高計画※1



※1) 今期より、従来「ガス設備事業」に含めていた一部工種を「建築設備事業」の区分に含めることに変更しております

※2) 工材販売手数料等の表示区分調整額

※3) 売上高構成比率

重要施策1.事業戦略 1/4

(1) 事業戦略の基本方針

持続的に発展、成長するために、
既存の事業領域に加えて、「建築
設備事業」を中核事業の一つに育
てあげる。特に新築設備工事分野
に経営資源を重点投入する。

<建築設備事業の内容>

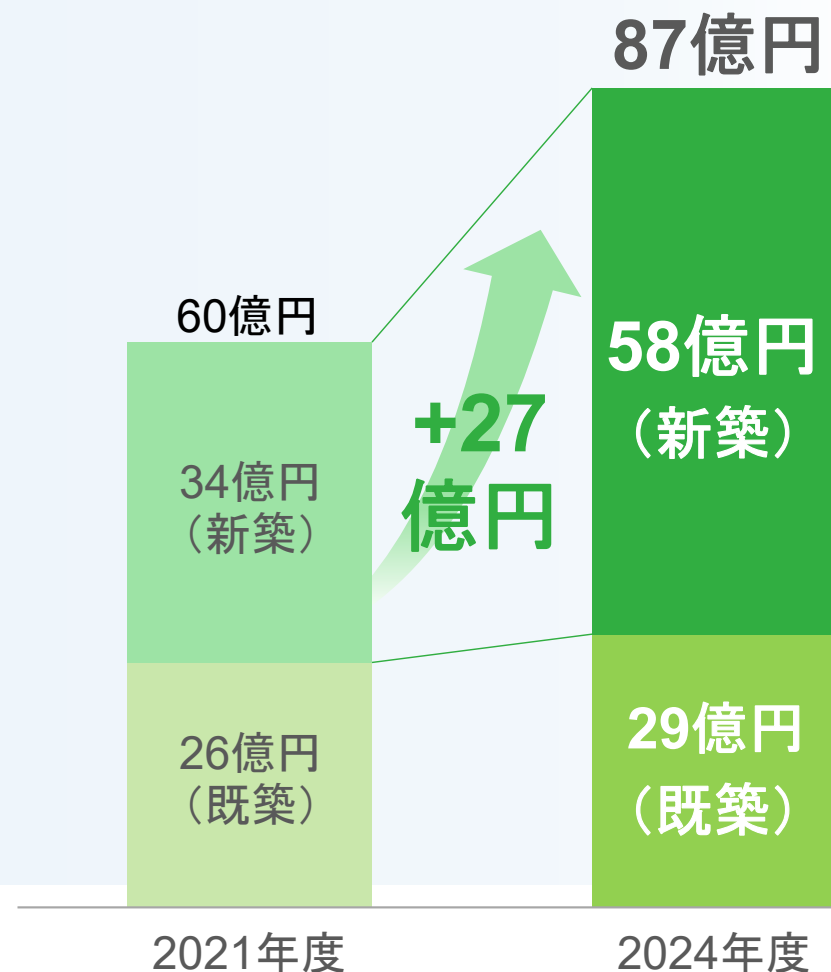
新築

- ・ 新築マンション・施設系建物の給排水衛生設備・空調設備工事等
- ・ 新築マンションの給湯・暖房工事
- ・ 新築戸建住宅の給排水設備・電気工事

既築

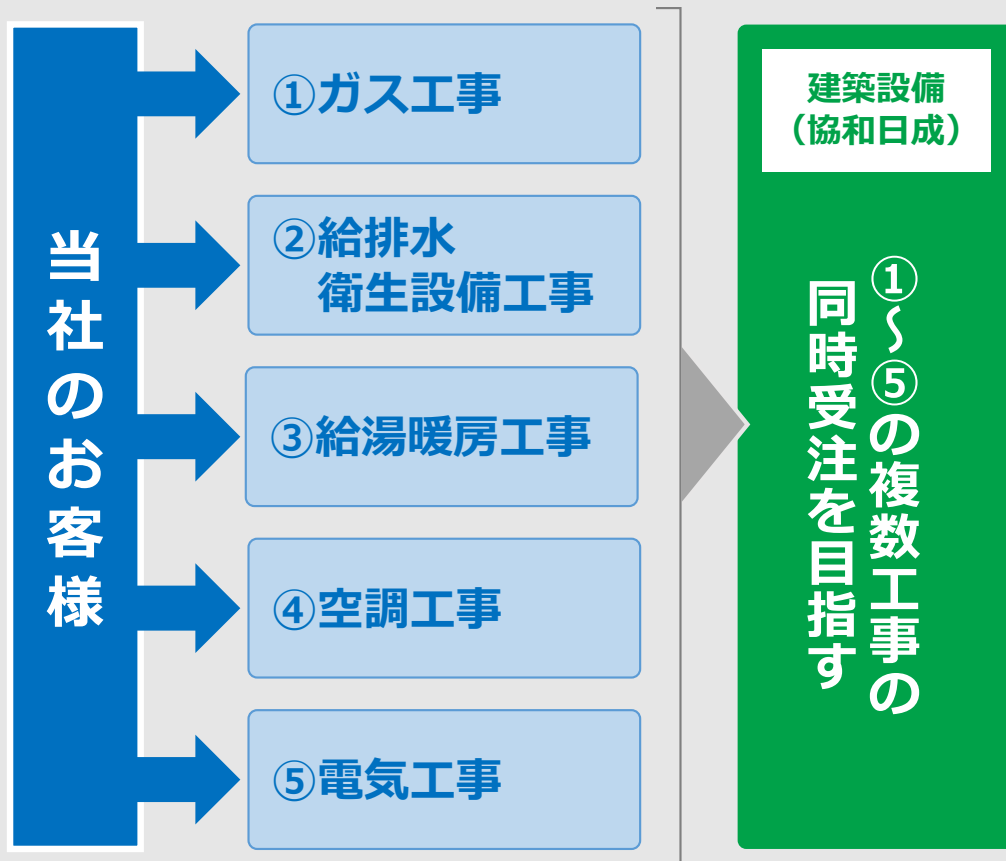
- ・ リノベーション工事（排水管更生工事を含む改修工事）
- ・ 工場施設関連の営繕工事
- ・ GHP工事

建築設備事業の売上計画



重要施策1.事業戦略 2/4

(i)建築設備事業成長に向けた取り組み



- 現状でも複数工事を受注しているが、施工体制を整えることで、複数工事の同時受注をさらに拡大する

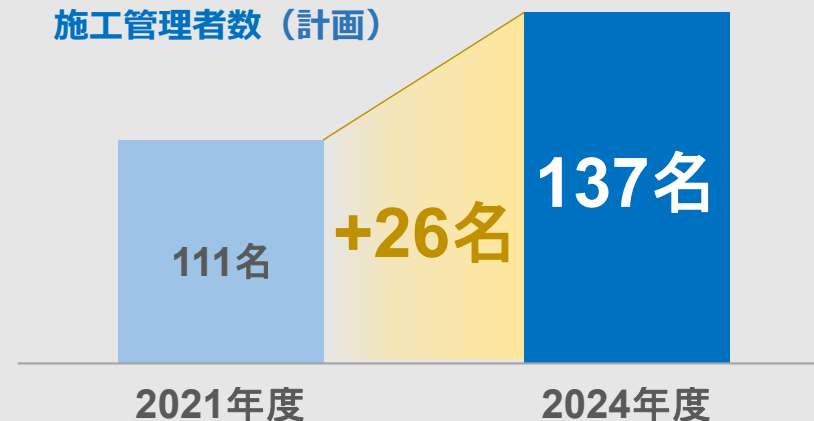
前中計の課題である

「受注量に応じた施工キャパシティの拡充と人材育成」
の解決を目指し

一括受注体制に向けた施工体制の整備

- 施工管理者の育成
- 建物の構造別にチーム体制を整え、一人当たりの生産性を向上させる
- 建築設備工事に従事する施工管理者の増強
- 営業・施工両サイドで共有できる工程管理システム導入

施工管理者数（計画）



重要施策1.事業戦略 3/4

(ii) 建築設備事業の成長余地に対する認識

一括受注・施工の顧客※1 メリット

- 発注者は工事ごとに専門業者に発注していたが、当社が一括で受注できる体制を整えることにより、発注先における1社あたりの管理コスト（購買管理、現場管理など）を低減するとともに、窓口一本化による利便性が向上

競争優位性

- ガス工事に主軸を置く工事会社の中で、設備事業を含めた一括受注体制を志向している企業は少ない

対象マーケットの開拓余地

- 首都圏の当社ガス工事实績における、当社のガス工事以外の設備工事の実績（給排水衛生設備工事）は以下のとおりで、マーケットの開拓余地は充分ある
戸建着工件数（2021年）
当社ガス工事实績 約12,900件※2
設備工事实績 約1,000件（シェア率 8%）
集合着工戸数（2021年）
当社ガス工事实績 約12,500戸※2
設備工事实績 約700戸（シェア率 6%）

対象マーケットでの優位性

- 首都圏での戸建ガス工事はトップシェアを誇る
- ゼネコンから地場工務店まで、幅広い顧客チャネルを有する（P.20「当社の顧客チャネル」参照）

※1) デベロッパー、ゼネコン、サブコン、建設会社等（詳細はP.20「当社の顧客チャネル」を参照）

※2) 当社算出値

重要施策1.事業戦略 4/4

(iii) 建築設備事業以外の事業分野の取組方針

ガス設備事業

- 首都圏エリアの営業体制の強化、施工能力の維持・強化を同時に行い売上拡大を図る
- ITを活用し業務効率化によりさらなる品質向上を図る

ガス導管事業

- 将来の事業環境の変化を見据え、監督・施工班の多機能化を推進する
- ガス導管需要工事の受注強化を図る
- 監督・施工体制の強化により本管・内管・水道工事の受注量の確保と利益の増加を図る

電設・土木事業

- 激甚化する自然災害によりニーズが高まる電力・水道のインフラ整備や、ゴルフ場設備の自動化・省力化等のニーズに対し、多機能化や業務分散、デジタル技術の活用による工事品質の向上を図る

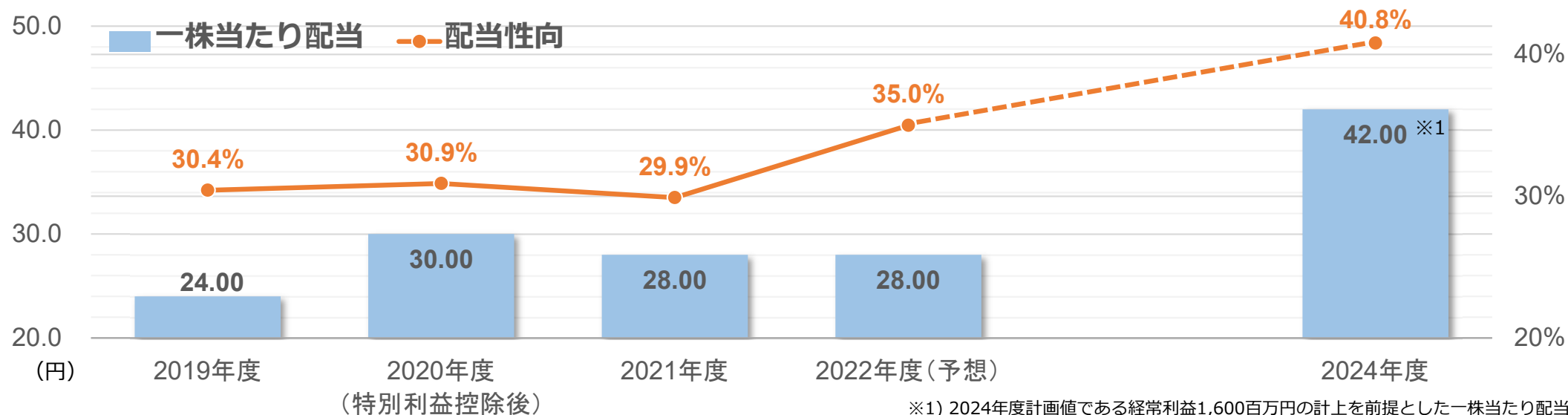
重要施策2.株主還元の強化

配当方針

今中期経営計画期間中（2022～2024年度）

- 経営基盤の強化に留意しつつ、当期の業績ならびに経営環境や今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案し、長期的かつ安定的な配当を維持・向上することを基本とする
- 業績に応じた配当を検討する上で、**2024年度に配当性向40%を達成**することを目標に、30%からの引き上げを図る
- 非日常的な特殊要因により当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがある

（2022年5月16日公表）



重要施策3.CSRの推進

取り組み内容

目標

E

- a. 環境商材の拡販
- b. ガソリン車、ディーゼル車以外の車両導入検討、車両のCO2排出量、電気使用量を分析

- a. 2024年度 環境商材※1500台/年を目指す
- b. 2024年度 CO2排出量10%削減（2021年度比）
2021年度 CO2排出量実績約174万kg

S

- a. 多様な働き方の実現（働きがいのある職場環境）
- b. CSR調達制度の導入（2022年4月）

- a. 男性主体業務への女性配員数の拡大（2020年度比40%増）を折り込んだ行動計画の策定、育児休業法改正に伴う制度整備
- b. CSR調達方針・ガイドラインの調達先との共有、アンケート等による現状把握と改善指導を実施し、グループとして社会的責任を果たす体制を作り上げる

G

- a. コーポレートガバナンス・コード（CGC）への対応
- b. コンプライアンスの推進

- a. エクスプレイン項目（役員評価、評価に基づく報酬制度、選解任基準の策定、任意の指名・報酬委員会の設置ほか）、次期改訂CGCへの対応
- b. 年1度実施している全社的内部統制評価アンケートにおけるコンプライアンス関連の各指標5%改善

※1) エネファーム、ハイブリット給湯器、太陽光発電、蓄電池

3.株主還元

Keep the Lifeline.

株主還元シミュレーション

株主還元シミュレーション

1株当たり年間配当額

28.00円 (2022年度予想)

株価

1,277円 (8/25終値)

単元株

100株

概算投資金額 (1単元)

$1,277\text{円} \times 100\text{株} \div 127,700\text{円}$

配当利回り

年間配当額

28.00円

配当利回り

$28\text{円} / 1,277\text{円} \div 2.19\%$

※予想配当利回りについては税引前の金額を対象

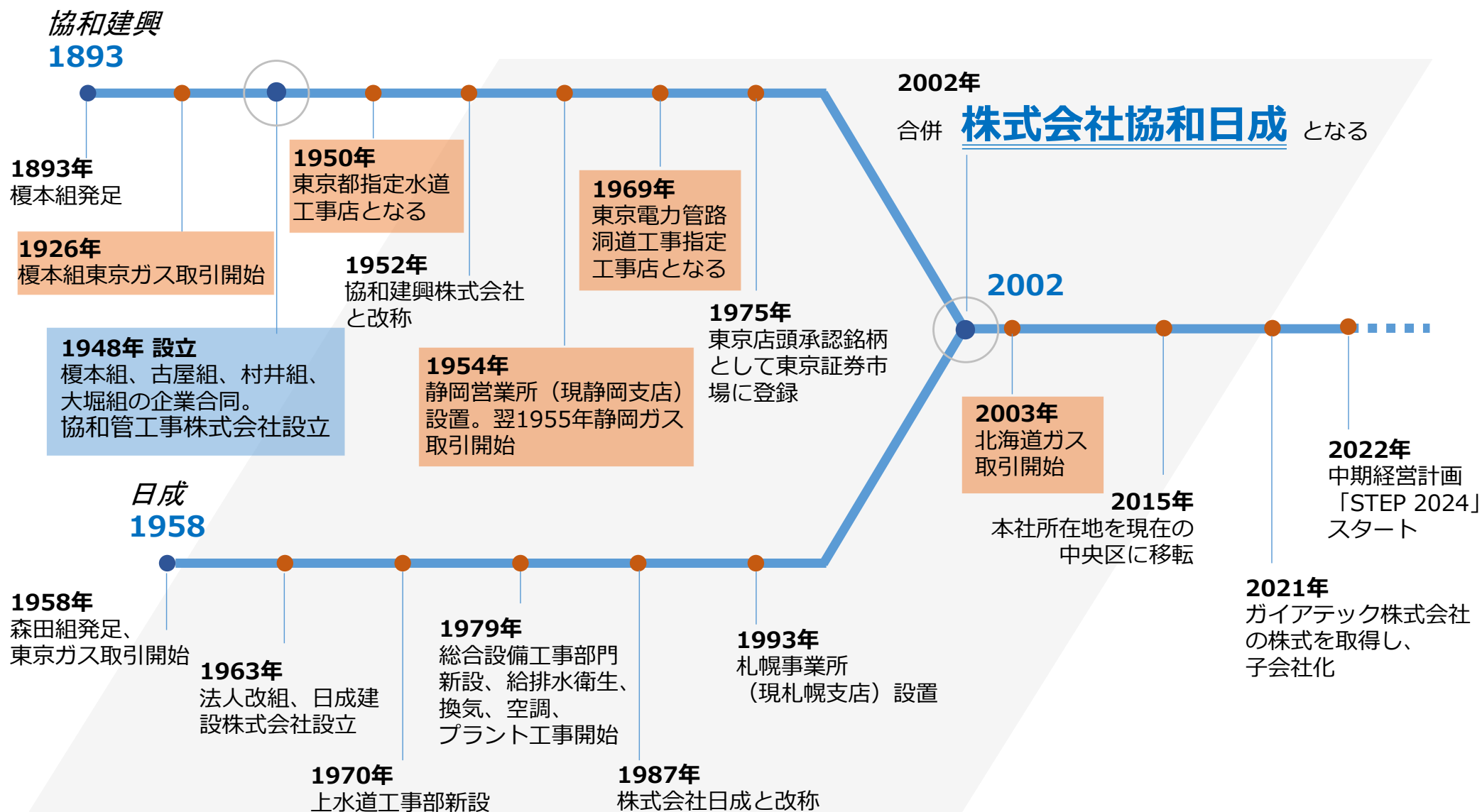
※ご購入の際に必要となる、証券会社売買手数料等は含んでいません

※株式ご購入の際手数料等については、お取引の証券会社にお問い合わせください

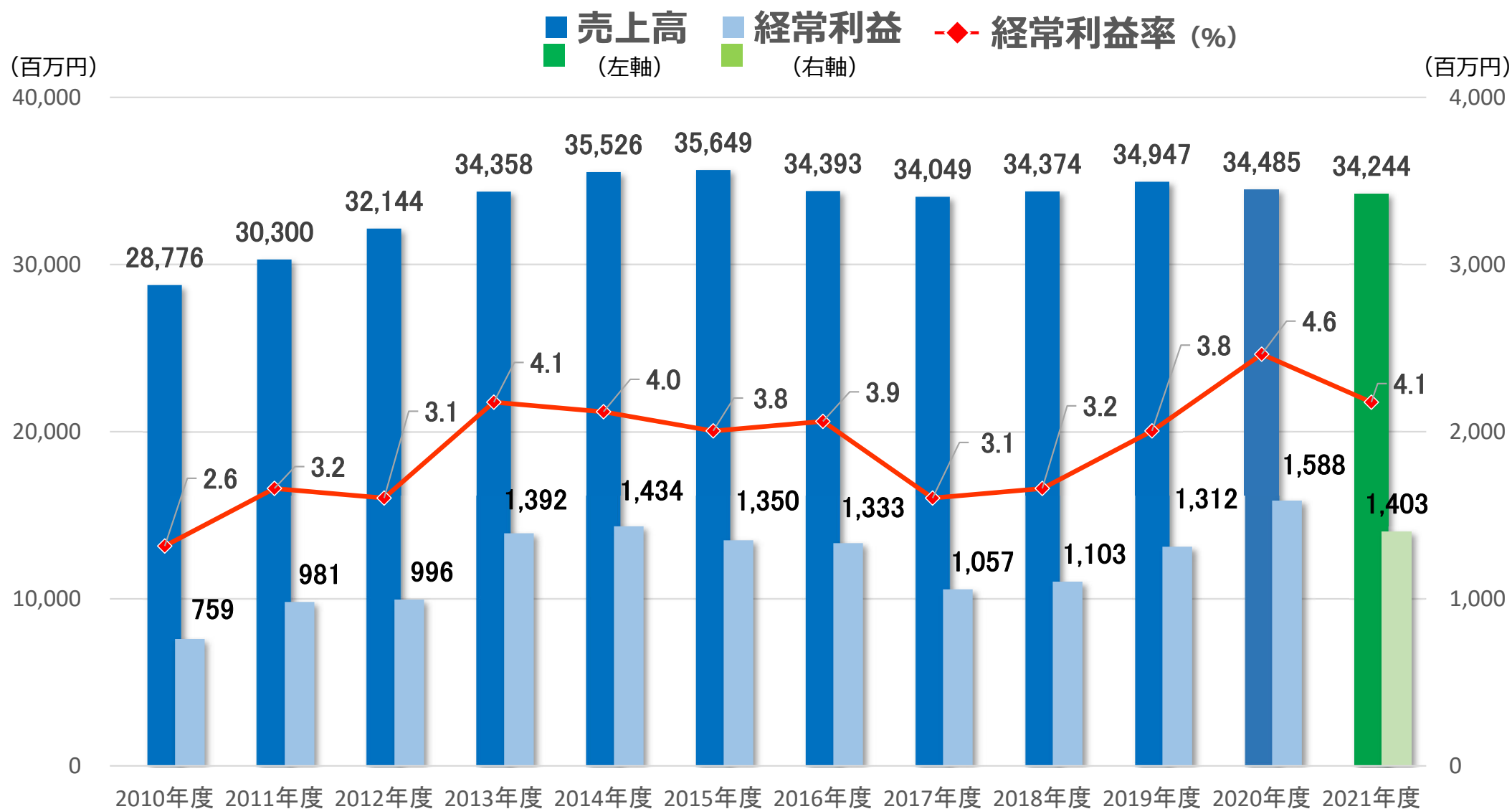
<参考資料>

Keep the Lifeline.

当社のあゆみ 沿革



当社のあゆみ 12か年業績推移



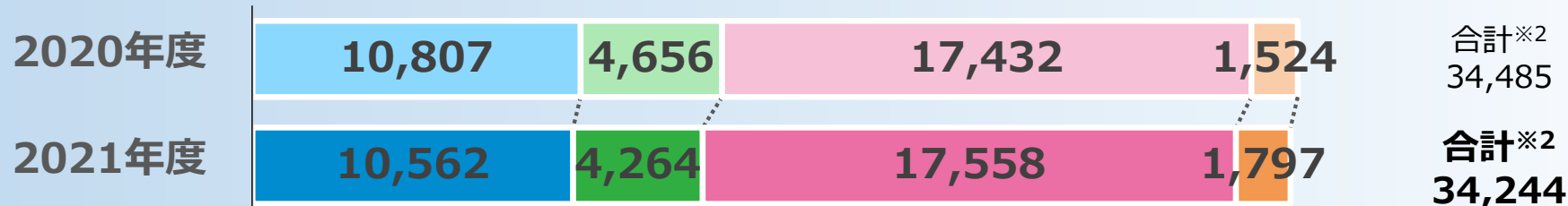
2021年度の業績 損益計算書（要約）

- 売上高の伸び悩みと原価率の上昇により前期比減益となったが、委託業務費等の経費抑制により期初予想を上回る利益を確保

(百万円)	2021年度 実績	2020年度	2020年度比		2021年度 予想	予想比	
			(金額)	(%)		(金額)	(%)
売上高	34,244	34,485	▲241	▲0.7%	34,670	▲426	▲1.2%
営業利益	1,259	1,407	▲147	▲10.5%	1,140	+119	+10.4%
経常利益	1,403	1,588	▲185	▲11.7%	1,280	+123	+9.6%
当期純利益	1,078	1,739	▲661	▲38.0%	890	+188	+21.1%
【参考】 期初手持工事高	16,178	16,431	▲253	▲1.5%	-	-	-

【セグメント別売上高】(百万円)

■ ガス設備※1
 ■ 建築設備
 ■ ガス導管※1
 ■ 電設・土木



※1) 組織変更により2020年度までガス設備へ含めていた静岡支店の売上高をガス導管へ組み替えております。参考までに2020年度の数字は組み替え後の数字にて表記しております

※2) 合計金額には外部顧客に対する鋼材販売手数料等の金額（2020年度65百万円、2021年度60百万円）を含めております

2021年度の業績 貸借対照表（要約）

（百万円）	2020年度末	2021年度末	前期比
資産の部			
流動資産	17,417	17,243	▲174
固定資産	8,688	9,013	324
有形固定資産	5,585	5,482	▲103
無形固定資産	27	27	0
投資その他の資産	3,076	3,503	427
資産合計	26,106	26,257	150
負債の部			
流動負債	8,462	8,172	▲290
固定負債	749	467	▲282
負債合計	9,212	8,639	▲572
資産の部			
株主資本	16,403	17,134	731
評価・換算差額等	490	482	▲7
純資産合計	16,894	17,617	722
負債純資産合計	26,106	26,257	150

【主なポイント】

- 流動資産
 - 有価証券 ▲200百万円
 - 完成工事未収入金 ▲152百万円
 - 未成工事支出金 +141百万円
- 固定資産
 - 投資有価証券 +149百万円
 - 関係会社株式 +222百万円
 - 繰延税金資産 +93百万円
- 流動負債
 - 1年以内返済予定長期借入金 ▲140百万円
 - 未払法人税等 ▲384百万円
 - 未成工事受入金 +150百万円
 - 賞与引当金 +180百万円
- 固定負債
 - 長期借入金 ▲100百万円
 - 役員退職慰労金引当 ▲185百万円
- 純資産
 - 利益剰余金 +730百万円

2022年度 損益の見通しおよび配当予想

(百万円)	2021年度	2022年度 予想	前期比	
			(金額)	(%)
売上高	34,244	34,580	336	1.0%
営業利益	1,259	1,140	▲119	▲9.5%
経常利益	1,403	1,320	▲83	▲5.9%
当期純利益	1,078	920	▲158	▲14.7%
一株当たり配当金 (配当性向)	28円 (29.9%)	28円 (35.0%)	— (5.1pt)	—
【参考】 期初手持工事高	16,178	17,006	828	5.1%

- 経済活動の回復に伴い営業活動を活発に実施するため、経費の増加を見込む他、将来を見据えた人材投資、システム関連費用、拠点更新費用等により減益となる見通し

前中期経営計画の振り返り 売上・利益

目標とする経営指標

企業の総合的な収益力を示す指標として、売上高経常利益率を重視。

3.0%以上の安定的な達成を目指す。

(百万円)	2018年度	2019年度	2020年度				2021年度			
			中計	実績			中計	実績		
				金額	中計比			金額	中計比	
売上高	34,374	34,947	34,680	34,485	▲195	▲0.6%	35,160	34,244	▲916	▲2.6%
経常利益	1,103	1,312	1,130	1,588	458	40.5%	1,158	1,403	245	21.2%
経常利益率	3.2%	3.8%	3.3%	4.6%	—	—	3.3%	4.1%	—	—

- ガス設備事業では新型コロナウイルス感染拡大に伴う住宅着工戸数減少、建築設備事業では期中完成物件の受注を絞ったことにより、売上高は計画未達
- 一方、ガス導管維持管理事業の移転(2020年度)に伴う労務費・経費の減少と、委託業務費をはじめとした工事関連の経費抑制策の効果により計画を上回る経常利益を確保

STEP 2024 重要施策4.筋肉質な企業体質作り

	取り組み内容	目標
全社	業務改革の推進 ● 現場監督（施工）・営業・事務関連等、既存業務の内容・量を見える化し、ワークフローの見直しやデジタル技術の導入等で業務の効率化を図る	● ITを積極的に活用し、ワークフローの見直しを行うことで生産性の向上を図る
	リモートワーク環境の構築強化 ● セキュリティ等、システム・インフラの強化、およびルールを整備 基幹システムの刷新 ● 業務処理効率向上 ● 法改正への対応	
部門固有	ガス導管事業 ● 本部内にCADセンターを設置し、内製化を図り委託業務費を削減 ガス導管事業/電設・土木事業 ● ウェアラブルカメラを用いて、業務効率化の推進	● 委託業務費の削減 ● 2024年度 ウェアラブルカメラでの現場巡回率50%達成

STEP 2024 重要施策5.経営基盤強化

	取り組み内容	目標
リスク管理	① 経営に重大な影響を与えるリスクの適時適切な見直しと対応策の検討	① 適切なリスクテイクと統制の枠組みの有効性について継続的な検証を行い、企業価値の増大に繋げていく
安全・品質の向上	① ITを活用した業務効率化による品質向上の推進 ② 施工体制基盤の維持強化 ③ 安全、品質管理の徹底	① 高品質なガス・機器工事の提供 ② 自主検査制度 ^{※1} の維持強化による高品質な製品の提供 ③ QPマネジメントシステム ^{※2} の深化・高度化、独自評価基準の策定（2022年度）
戦略的M&Aの実施	① M&Aを視野に入れた施工体制の検討	① 事業領域拡大のため、協力会社の確保
従業員の心と身体健康づくり	① 従業員の「心と身体健康づくり計画」の実施	① 「金の認定 ^{※3} 」の取得を目指す
人材の多機能化と育成	① 人材育成を目的とした教育のサポート実施 ② 部門を問わず、多機能化のための教育・人事ローテーション ③ ベテラン社員による若手の育成	① 資格取得者の増加 ② 多機能化計画の立案と実施 ③ 若手社員の育成・技術力の伝承等
東証市場構造改革を踏まえた取り組み	① 流通株式比率向上へ向けた施策の検討 ② 継続的なIR活動	①～② スタンダード市場上場維持基準充足を盤石なものとする

※1) 当社の自主検査員が各営業所の現場を巡回し、安全・品質に関して改善指導を行う仕組み（ウェアラブルカメラでの巡回含む）

※2) ISO9001を基にした当社独自の品質マネジメントシステム。QP：クオリティ・プラス/「さらなる品質向上を図る」という意味

※3) 健康優良企業認定制度のステップ2。当社は2020年に、健康保険組合連合会東京連合会より、ファーストステップである「銀の認定」を取得

これまでの大規模災害時における復旧活動

災害発生時の二次災害防止と早期復旧のため、発注者との覚書を締結。

災害発生時には復旧支援隊を派遣。

災害派遣実績

延べ人数（当社施工監督と協力会社の派遣人数×稼働日数）

		都市ガス 導管	都市ガス 内管	プロパン	仮設住宅	水道 (給水応援)	合計
2004年	三宅島復興工事	-	-	314	-	-	314
2004年	新潟県中越地震復旧支援	2,223	(No Data)	-	-	-	2,223
2007年	新潟県中越沖地震復旧支援	3,461	1,440	-	-	-	4,901
2011年	東日本大震災復旧支援 (日立、石巻、仙台、千葉など 複数エリア)	4,486	1,337	-	108	-	5,931
2016年	熊本地震復旧支援	1,254	180	-	-	-	1,434
2018年	大阪府北部地震復旧支援	494	76	-	-	-	570
2018年	北海道胆振東部地震復旧支援	75	14	-	-	24	113



熊本地震 復旧隊全体ミーティング



大阪北部地震 作業指示風景



東日本大震災 導管復旧工事

ご注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社協和日成 企画室

電話 : 03-6328-5662

メール : ir@kyowa-nissei.co.jp